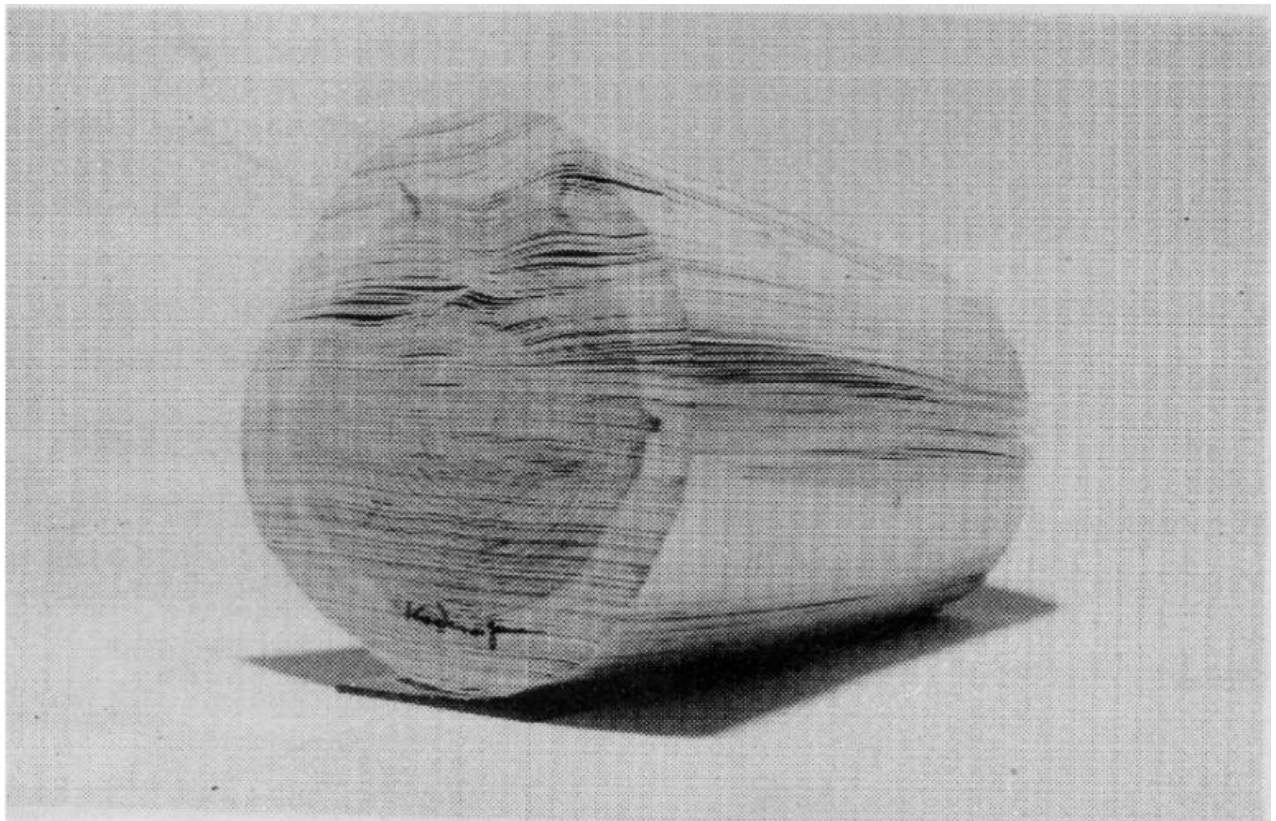


-galleri wallner fersens väg 4 malmö-

NEW YORK. TOKYO. STOCKHOLM.



ニューヨークはおそらく世界で最も重要なアートセンターです。これがアーティストの出身です。ここには多くの重要なギャラリーと多くの好奇心旺盛な聴衆がいて、ダイナミックな革

新を促進しています。米国では、芸術は役に立たない虚栄心としてではなく、人生を豊かにするために不可欠なものとして見られています。多くの現代美術館、いくつかの熱狂的な機

関、ほとんどのイベントを監視および文書化する優れたアートタイムの執筆があります。彼らは協力と寛容に基づいて活動し、個人の大きな自由の余地を与えています。Miriam Bloom、Mary Heilmann、Ned Smyth がその良い例です。東京はもう一つの刺激的な芸術の街です。日本には長い美的伝統があり、これをベースとして、アーティストは新しい道を模索しています。彼らを助けるために、彼らは独特の物質的な感覚と自然への敏感さを持っており、それらと調和して働きたいと思っています。角永和夫は、日本の現代美術への関心が世界中で着実に高まっている若手アーティストの一人です。ストックホルムは、Pontus Hultén がマザーミュージアムの館長を務めていたときに行った素晴らしい仕事を通じて国際的に知られるようになりました。今日、あなたは古い倉庫に住んでいます。しかし、現在の制度的疲労にもかかわらず、優れたギャラリーと重要なアーティストがいます。秋のシーズンを迎える

LENNARTASCHENBRENNER は、ストックホルムで数年前から活躍しています。彼の古い封筒と半分消去された住所の写真は今ではよく知られています。しかし、彼のサブジェクトサークルには他のオブジェクトも含まれています。それは木の棒、しわくちゃのバッグ、または道具であり、彼は優れたスキルと色彩の感度で掘り下げます。アシェンブレナーは今日、スウェーデンで最も興味深いアーティストの1人である控えめな絵を描いています。展示会は9月8日から26日まで開催されます。MARYHEILMANN と NEDSMYTH はどちらもニューヨークで活動しています。彼らがそれぞれホリーソロモンギャラリーで絶賛された展示をしたところ。ハイルマンは1968年にカリフォルニアからニューヨークに来ました。それ以前は、サンタバーバラ大学とパーケリー大学で学びました。彼女の絵は厳密に幾何学的です。しかし、彼女のスキ

ルと色彩感覚を通して、彼女は彼らに素敵な内面の繊細さを与えます。ネッド・スミスは1948年にニューヨークで生まれました。彼は、近年米国で登場した最も特徴的な彫刻家の1人です。

スミスはいくつかの公共の装飾をしました。最も有名なのは、ニューヨークのダグハマーシールドプラザでの彼のインスタレーションです。彼の彫刻は、目標としてではなく、コミュニケーションの手段として、意図的に装飾されています。彼は歴史的および建築的に知られているビルディングブロックを使用しています。男としての尊敬と畏敬の念を呼び起こすために靴は、例えば大聖堂を訪問します。展示会は9月29日から10月17日まで開催されます。カズオカドナガは1946年に日本で生まれました。彼は約10回の個展を開催しており、そのほとんどが東京で開催されています。また、世界中のグループ展にも参加しています。彫刻家である門永は、過去8年間、木材のみを扱ってきました。彼は生計を立てようとしている、すなわち。絶えず変化しているもの。そして、世界がしっかりしているはずがないことを証明してください。展示会は10月20日から11月7日まで開催されます。

MIRIAM BLOOM は1949年にアイオワで生まれ、現在はニューヨークに住んでいます。彼女は1977年にニューヨークのトルーマンギャラリーで最初の個展を開催しました。彼女はVogue、New York Times、Artforumなどの雑誌で注目されました。ミリアムブルームは、パピエマッシュとセメントでボウル型の彫刻を作ります。日本の庭園とその凝縮された瞑想的な風景への彼女の興味を通して形が発展しました。展示会は11月10日から28日まで開催され